

Webページ作成におけるモラル指導の実践

深谷小学校（実践者）教諭 関根千鶴子 浅野貴之 坂本尚子
（報告者）教諭 田中光夫

1 単元名 「見てみて深谷小 聞いて聞いて学校自まん」 第5学年（総合的な学習の時間）

2 単元のねらい

学校の自慢を見つけ、Webページを作成し伝え合うことで、自分たちの学校に誇りを持ってよりよい学校にしようとする態度を培うことができる。

- ・深谷小の自慢を見つけその中から課題を決定し調べることができる。
- ・Webページ作成ソフトの使い方を知り、伝えたいことを効果的に表現することができる。

3 情報機器活用の意図

児童は、総合的な学習の時間や各教科の調べ学習においてWebページを活用し、世界中の人々から情報を得ているが、自分たちの情報を世界中の人々へ発信する経験はしていない。そこで、本単元では、簡単に世界中の人々へ情報を発信できるインターネットの特性を理解させるために「学校自慢」というテーマを通して、Webページ作成の活動を取り入れた。

4 情報教育の視点

インターネットを使うと世界中の人々が発信した情報を学校にいながらにして得られる。また、デジタル化された情報のためにコピーが容易にできるという光の部分がある。その反面、発信した情報を不特定多数の人々に見られてしまい、簡単にコピーされて悪用されてしまうという影の部分もある。児童にWebページを作成させるにあたり、これらの光と影の部分やマナーについていろいろページを見せながら気づかせるとともに以下の5点についてプリントを準備し事前指導した。

友達（自分）の名前や連絡先、顔写真などをのせてはいけません。（個人情報保護）

人が撮った写真を勝手にのせてはいけません。（著作権保護）

他のWebページの写真や言葉を勝手にのせてはいけません。（著作権保護）

テレビのキャラクターなどを描いたり、のせたりしてはいけません。（著作権保護）

人の悪口やウソの情報をのせてはいけません。（マナー）

また、作成中も常にこの5点を意識するよう指導するとともに、取材した情報が正確なものかどうかを何度も確認させ、インターネット公開に耐えうるページになるようにした。

5 指導計画（16時間扱い）

評価の観点 意欲・態度 情報活用 表現 コミュニケーション 生き方・意思

過程	学 習 活 動	支援（・） 評価（ ）
ふ れ ら る 課 題 を つ か む	1 課題を知る（2時間） オリエンテーション Webページを見よう。 ウエビング表を作る。 ウエビング表をもとに話し合う。 2 課題をつかむ（1時間） 自分の課題をつかむ。	・今までの経験から学校自慢を多くの人に知ってもらう手段としては、Webページが有効だと気づかせる。 ・自分の学校のWebページや他のWebページを見ることで、よいところやまねをしたいところなどを発見させる。（モラル指導） ・Webページを作るために、気をつけなければいけないことをプリントを用意し知らせる。（モラル指導） ・興味・関心から課題を見つけ、取り組みたいことを決める。 意自分で課題を見つけ取り組もうとする。

構 見 想 通 す す る	3 計画を立てる(2時間) グループ分けをする。 計画を立てる。	<ul style="list-style-type: none"> ・似た課題ごとにグループを作らせる。 ・自分たちの課題に合った具体的な計画を立てさせる。 <p>☐相手の考えを取り入れながら、グループの計画を立てることができる。</p>
調 追 べ 求 る す る	4 計画を実行する(4時間) 内容を検討する。 計画を実行する。 ・課題にあった写真をデジタルカメラで撮る。 ・インタビューをし取材する。	<ul style="list-style-type: none"> ・課題の中から各自の調べたい内容を確認し責任を持って取り組ませるとともに、お互いに協力し合うことにも心がけさせる。 ☐友達への考えにも耳を傾けながら、よりよい方法を考えて活動することができる。 ・時間を効果的に使わせるために、事前調査を行うようにさせる。 また、撮った写真をグループで見合い効果的に撮れているか話し合わせる。 ・自分の調べたことの正確さを確かめるために、情報交換の場を設け、話し合わせる。(モラル指導) ・グループ内で共通理解しながら活動できるように、反省の時間を確保する。 <p>情 デジタルカメラの特性を知り、有効に活用することができる。</p>
表 ま 現 と す め る る	5 まとめる(5時間) Webページ作成ソフトを使い、作成する。 ・伝えたい内容を考え検討しまとめる。 ・撮ってきた写真を選択する。 ・写真や文の配置を考える。 ・文字の大きさや色を考える。	<ul style="list-style-type: none"> ・自分が伝えたい内容に合った文章表現を工夫させる。 ・効果的に伝えるために写真や文の配置、文字の見やすさなどを考えながら作成させる。 ・技能を一人一人に定着させるために、分担して作成させる。 ・できた作品が、課題に沿っているか確認するために、資料が重複していないか、写真や文が見やすいか何度も見直し校正させる。 <p>表 自分の伝えたい内容を適切に、効果的に表現することができる。</p> <p>情 Webページ作成ソフトの使い方がわかり、調べたことをまとめることができる。</p>
広 伝 げ え る る	6 思いを伝える(2時間) 作成したWebページを発表する。 ・プロジェクターを使い、画面を大きく映して発表する。 深谷小学校のWebページへアップロードする。	<ul style="list-style-type: none"> ・自分たちが取り組んできたことや考えたことを発表し合うことで、Webページ作成のおもしろさに気づかせる。 ・他の班の効果的な表現方法やインターネット公開のために気をつけていることに視点をあて、見させる。(モラル指導) ・深谷小学校のWebページにアップロードし、達成感を味わせるとともにWebページの特性を再確認させる。 <p>☐相手のことを考えながら、進んで伝え合うことができる。</p> <p>生 学校自慢のWebページ作成を通して、深谷小学校のよさを発見し、積極的に生活していこうとする。</p>

6 成果と課題

自分たちの学校の自慢をインターネットへ公開するという明確な目標に向かって、大変意欲的に取り組んでいた。事前にモラル指導を行ったことで、個人情報に気をつけ、写真の撮り方を考えたり、インタビューをし取材したことが、正確な情報かどうか実際にその場所に行ってみて確かめたりするようになった。また、自分の写真や文と友達のを区別するようになるなど著作権にも気を配れるようになった。しかし、著作権については、まだまだ意識が低く、調べ学習などでは、簡単にコピーをし使ってしまうのが現状である。この著作権について意識を高めていくことが今後の課題である。今回の実践を通して、インターネットを有効に活用させるには、積極的にモラル指導をしていくことが大切であると感じた。